

64期生

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2016年2月5日(金) No.40

「誕生学」について学習しました

昨日、誕生学アドバイザーの講師の並川先生に来ていただいて、「大切な生命」をテーマに、胎児が子宮の中で大きく育っていく様子や生命の誕生の尊さについて話されました。他にも、赤ちゃんが生まれてくるまでの映像を見たり、赤ちゃんの実物大の人形と骨盤の模型を用いて、

子宮から体外へ出ていく動きなどをわかりやすく話されました。みんなは、生まれるまではお腹の中で育ち、生まれてからも大事に抱っこされたりして愛情をたっぷり受けながら、すくすく大きく育ってきたわけですね。そんな生命の神秘をとってもわかりやすく話していただき、タメになった時間となりました。

また、事前学習として、先週はプリント学習にて「いのちのバトン」のことについて考えました。自分の親、そしてそのまた親、・・・とさかのぼっていったときに、7代までの親は総勢128人いて、その1人でも違えば自分は生まれてきていないことなどを学習しましたね。そして3日(水)には、「小さな生命の詩—スペシャルエディション」を視聴し、生命の始まりから誕生までや胎児の成長の様子などについて学びました。みんな集中して観ていましたね。

自分の「性」を正しく理解し、自分の考えで物事を決めることができるようになった時、「自分らしさ」を見つけることができるようになります。そして、「自分らしさ」を見つけることは、本当に自分のやりたい事は何かを考え、探し出すことであるという事でした。ゆっくり時間をかけてでもいいので、「自分らしさ」を見つけていってほしいものです。

最近の議員を中心とした取り組み

議員の人達を中心に、「64期生がもっと良くなっていくにはどうすればよいか」などを話し合っています。

あと約2ヶ月で64期生は2年生に進級しますが、2年生の大きな行事である『湖畔学舎』が6月初旬にあります。それにむけて、まずはみんなが普段の学校生活をきちんと過ごしていくことが大切です。そのため、議員だけではなく、その動きに賛同してくれる仲間を集めて、今の64期生の課題やその課題を解決していくためにどのようなことをしていこうかと話し合っています。

日々の学校生活の中で、ルールが守られなければ、集団としてきちんとした行動ができません。例えば、集会などでは人の話を静かに聞くこと、授業のはじめには時刻を守ってチャイム着席をすることなどがあげられます。普段の学校生活でそういったことができていなければ、湖畔学舎においても、ルールや集合時刻などが守れるはずがありません。普段の行動がきちんとできてこそ、特別な場面でもきちんとできるものです。

「ちょっとくらいイヤ」「俺だけ、私だけちゃうし」といった考えはやめて、みんなのために自分のために行動できるようになっていきましょう。

3学期の様子（続き）

前号、チャイム着席が定着してきたり、現在は、朝の読書タイムでは「毎日読む・静かに読む・みんなで読む」ことを目標に取り組んでいると伝えてきました。

そのところに関しては、継続してだいたいの生徒は意識して取り組んでいます。最近の気になる点としては2つ。1つはトイレやテラスなどが汚れていること。きれいにしてもきれいにしても便器に足跡がついていたり、ゴミが落ちていたりしています。もう1つは人の嫌がる発言や行動が増えてきています。いずれも自分の家や自分がされて嫌なのはわかっているのに、人にはしています。こういったことがないよう、それぞれが一度、自分を振り返り、行動につなげていくようにしよう。